報 告 書

原山小学校跡地活用協議会 第３回委員会

令和５年６月 11 日 (日) 10:00～12:00
原山台集会所 会議室
出席者　役員７名、公募委員 11 名
※傍聴者３名

内容

あいさつ　　川本市長、宮丸会長

メンバー紹介　　新公募委員による自己紹介

事務局説明　　資料の説明

・人口動態について･･･市も当連区も人口が減っている。

・学校建物等の情報･･･原山小の校舎や運動場は広い。

【審議事項】〇原山小学校跡地活用の方向性について

今回も参加者がＡ・Ｂ二つのグループに分かれｸﾞﾙｰﾌﾟ討論を行った。第１部では、前回の振返りを行い、地域の魅力と地域の課題・ニーズについて、またそれにもとづく跡地活用のアイデアについて補足・追加の意見を出し合った。

＜各グループの主な意見＞

	地域の魅力	地域の課題・ニーズ	跡地活用のアイデア
Ａグループ	前回は、自然、施設、利便性、人柄などが挙がっていた。 ・集まりやすい(場所) ・徒歩圏内に幼保育園、小中高校、商店街、公園があった。	前回は、交通、高齢化、環境、病院などが挙がっていた。 ・交通の便が悪い。 ・遊び場の少なさ。小さい公園が多い。 ・専門の病院、高齢者向けの病院があるとよい。 ・ヨガなどに気軽に行ける場所があるとよい。	前回は、コミュニティ、スポーツ、教育、図書館などが挙がっていた。 ・イスやひさしがあり見学できるスポーツ施設 ・福祉施設、各病院 ・みんなが集まれる施設。コミュニティバスも運行しやすい。働く人も増加するかも。 ・日本人と外国人との交流があるとよい。日本語だけでなく、外国語もわかるように教室があるとよい。 ・移動図書館

	地域の魅力	地域の課題・ニーズ	跡地活用のアイデア
Bグループ	前回は、自然・環境、施設、地域力などが挙がっていた。 ・住民バスの運行 ・異文化交流	前回は、施設、少子・高齢化人口減少などが挙がっていた。 ・福祉の相談所が少ない。 ・交通手段、買物の店がない。 ・異文化交流(言葉の壁)。 ・違法駐車	前回は、人口を増やす施設、若者を呼ぶ大きな公園、公民館・交流センター、病院総合クリニックなどが挙がっていた。 ・高齢者が多いので、文化教室や外国語・防災対応など。 ・習いごと、勉強などの貸しスペース ・グランドを残し、子どもたちが運動できるように。 ・子育て相談所 ・起業支援

第２部では、第１部の結果を踏まえて跡地活用の目指すべき方向性について話し合った。

＜各グループの主な意見＞

	A グループ	B グループ
跡地活用の目指すべき方向性	(スポーツ) ・運動場の貸し出し ・年齢に関係ないスポーツ団を作る。 (イベント) ・祭り ・他のイベントの持ち込み。 (交流) ・教室を交流の場に。 (図書館) ・図書館の開放 (課題) ・道路の補修、跡地までの安全確保 ・駐車場、バス ・活動時の組織 ・病院	(校舎活用) ・建物を残して福祉施設に利用。 ・校舎利用の実績残し、市にアピールし新しい施設を。 (多世代交流) ・施設を利用し、住民(次世代)交流の場を。 ・多世代交流の場。図書館、児童施設、コミュニティカフェ等を現教室使ってつくる。 (図書館) ・各家庭に眠っている図書を寄付してもらう図書施設 ・図書館の誘致。子どもの学び場。 (企業連携) ・企業に援助協力してもらうため、マスコミ・大学等の PR を願う。

グループ討議の終了後、それぞれの進行役から結果が発表された。また、全体をとおして次のような意見が出された。

・当委員会でのグループ討議での意見はほぼ出つくしたように思う。もっと、若い人たちの意見を聞きたい。

・現在原山小学校に通っている児童や保護者の意見も聞いてみたい。

・跡地活用に対する全住民対象のアンケートをしてほしい。

さらに、今回は愛知工業大学の野澤教授が見学に見えたため次のとおりアドバイスをもらった。

・校舎の耐震補強はされており、再利用はすべきである。また、それを含め跡地活用で魅力あるまちにすべきである。そのために、住民がどうしたいのかというビジョンを持ちことが大切である。

・学校は大きな施設なので、複合的な活用にしてはどうか。先進地の見学をするとよいのではないか。

・費用については、地域でも財源を生み出すことを考えてはどうか。住民にはいろいろな分野のプロがいる。

なお、これらの意見等を受け、今回の結果を事務局がまとめた上で次回以降の対応を役員会で検討することとなった。

【その他】

(事務局からの連絡事項)

・第３回委員会の結果は「原小跡地活用ニュース」第４号にまとめ、全戸配布する。

・第４回委員会は、７月９日(日)10:00 から開催する。場所や内容は未定で、改めて通知する。

以上